

#### ④ 予備費

交通機関が止まるような事態になった時などに、飲食物の調達や代替交通手段の確保、あるいは緊急宿泊等、考える様々な状況下で現金が必要になる局面は多い。SuicaやPASMOに多めの額をチャージしておくと共に、現金でも1万円程度を持っておこう。この予備費は買い物用の予算とは別の財布に入れてバッグに大切にしまっておき、間違っても同人誌を買うお金が足りないからと手を付けたりしないこと！

#### ⑤ 雨具

折り畳み傘、ポンチョ、レインギアなどの携帯雨具に加えて、バッグをすっぽり入れることができるゴミ袋などの大きめのビニール袋があるとよい。台風や前線の活動状況といった情報をこまめにチェックしておくことも大切だ（ただし、コミケットの入場待機列や購入待機列では傘はできる限り使用を控えよう）。

#### ⑥ 行動食&水

先の3月11日の時も、交通機関の麻痺によって溢れた帰宅困難者によって都内のコンビニや自販機では飲食物が全く無くなるという事態が発生した。栄養ビスケットやナッツ類、個包装の羊羹などそれなりに腹持ちが良い物を中心に最低限一食分のエネルギーと水分は自分で用意しておこう。

飲用以外にも役に立つので、少々重いが当座の飲み物とは別に、水の500mlのペットボトル1本も、保険と思って荷物に加えておきたい。

#### ⑦ ミニLEDライト

夜以外でも、地下鉄の構内で急に停電した場合などに、灯りがあれば落ち着いて行動できる（携帯にもライトはあるが、バッテリーは温存しておきたい）。消費電力の少ないLEDライトであれば長時間光源を確保でき、電球切れのリスクも小さい。もちろん、前日に電池を新品に入れ替えて点灯チェックをしておくこと。

#### ⑧ 救急キット

救急絆創膏、消毒薬、ガーゼ、バンテリン等の消炎鎮痛剤軟膏、頭痛薬、風邪薬、胃腸薬をチャック付きビニール袋などに入れておく。また、最低限靴擦れやマメ、捻挫の対処方法は知っておこう。

#### ⑨ 最低限度の着替え

下着、靴下、フェイスタオル1枚、ミニタオルや手ぬぐい等。

#### ⑩ 携帯ラジオ

ラジオ機能付きの携帯もあるが、バッテリー温存のため、できればコンパクトな専用ラジオを用意したい（音楽プレイヤーでラジオ付きの物などはオススメ）。情報が無いとどう行動して良いか分からなくなってしまいますので、そういった場合にラジオは最後の頼みの綱なのだ。特に遠方からの参加者には、交通機関の運行情報の取得などに役立つので、携行を勧めたい。

これらの装備は戦利品を収めるバッグとは一緒にせず、小さな別のバッグに分けておこう。戦利品のバッグは途中でコインロッカーなどに預けたり、バッグごと宅配便で送ってしまう選択もありうるが、そういった時でも困らずに済むようにするためと、常時両手はフリーにしておくためだ。

### ● 良い靴は勝利の鍵！

参加者の1日を文字通り支えているのは、靴である。1日の大半を履いて過ごす以上、靴の良し悪しは疲労に直結する。結論から言えば、コミケットでベストの靴は、軽量のトレッキングシューズだ。

もちろん、ファッション的な見地からは他の選択肢も大いにあるだろうが、今回のように、万一の場合にはコミケット会場以外でも長距離を徒歩移動しなくてはならない可能性がある場合には、出来る限りしっかりと靴を履いてくることが望ましい。とは言え、足をすっぽりと覆う靴は、暑い。

なので、トレッキングシューズの中でも、軽量性と通気性を重視した『トレイルランニングシューズ』と呼ばれるカテゴリーの靴がオススメだ。

踏まれてケガをしたり、靴ずれを起こして歩けなくなってはおしまいなコミケット、靴だけは良い物をおごって欲しい。

それでもサンダル！という方は、せめて安全のためにソックスを履こう。1枚あると無いとではケガのリスクが大違いなのだ。



#### ④予備費

交通機関が止まるような事態になった時などに、飲食物の調達や代替交通手段の確保、あるいは緊急宿泊等、考えうる様々な状況下で現金が必要になる局面は多い。SuicaやPASMOに多めの額をチャージしておくと共に、現金でも1万円程度を持っておこう。この予備費は買い物用の予算とは別の財布に入れてバッグに大切にしまっておき、間違っても同人誌を買うお金が足りないからと手を付けたりしないこと！

#### ⑤雨具

折り畳み傘、ポンチョ、レインギアなどの携帯雨具に加えて、バッグをすっぽり入れることができるゴミ袋などの大きめのビニール袋があるとよい。台風や前線の活動状況といった情報をこまめにチェックしておくことも大切だ（ただし、コミケットの入場待機列や購入待機列では傘はできる限り使用を控えよう）。

#### ⑥行動食&水

先の3月11日の時も、交通機関の麻痺によって溢れた帰宅困難者によって都内のコンビニや自販機では飲食物が全く無くなるという事態が発生した。栄養ビスケットやナッツ類、個包装の羊羹などそれぞれに腹持ちが良い物を中心に最低限一食分のエネルギーと水分は自分で用意しておこう。

飲用以外にも役に立つので、少々重い当座の飲み物とは別に、水の500mlのペットボトル1本も、保険と思って荷物に加えておきたい。

#### ⑦ミニLEDライト

夜以外でも、地下鉄の構内で急に停電した場合などに、灯りがあれば落ち着いて行動できる（携帯にもライトはあるが、バッテリーは温存しておきたい）。消費電力の少ないLEDライトであれば長時間光源を確保でき、電球切れのリスクも小さい。もちろん、前日に電池を新品に入れ替えて点灯チェックをしておくこと。

#### ⑧救急キット

救急絆創膏、消毒薬、ガーゼ、バンテリン等の消炎鎮痛剤軟膏、頭痛薬、風邪薬、胃腸薬をチャック付きビニール袋などに入れておく。また、最低限靴擦れやマメ、捻挫の対処方法は知っておこう。

#### ⑨最低限度の着替え

下着、靴下、フェイスタオル1枚、ミニタオルや手ぬぐい等。

#### ⑩携帯ラジオ

ラジオ機能付きの携帯もあるが、バッテリー温存のため、できればコンパクトな専用ラジオを用意したい（音楽プレイヤーでラジオ付きの物などはオススメ）。情報が無いとどう行動して良いか分からなくなってしまうので、そういった場合にラジオは最後の頼みの綱なのだ。特に遠方からの参加者には、交通機関の運行情報の取得などに役立つので、携行を勧めたい。

これらの装備は戦利品を収めるバッグとは一緒にせず、小さな別のバッグに分けておこう。戦利品のバッグは途中でコインロッカーなどに預けたり、バッグごと宅配便で送ってしまう選択もありうるが、そういった時でも困らずに済むようにするためと、常時両手はフリーにしておくためだ。

#### ●良い靴は勝利の鍵！

参加者の1日を文字通り支えているのは、靴である。1日の大半を履いて過ごす以上、靴の良し悪しは疲労に直結する。結論から言えば、コミケットでベストの靴は、軽量のトレッキングシューズだ。

もちろん、ファッション的な見地からは他の選択肢も大いにあるだろうが、今回のように、万一の場合にはコミケ会場以外でも長距離を徒歩移動しなくてはならない可能性がある場合には、出来る限りしっかりと靴を履いてくるのが望ましい。とは言え、足をすっぽりと覆う靴は、暑い。

なので、トレッキングシューズの中でも、軽量性と通気性を重視した『トレイルランニングシューズ』と呼ばれるカテゴリーの靴がオススメだ。

踏まれてケガをしたり、靴ずれを起こして歩けなくなってしまうのはおしなべておしい。それでもサンダル！という方は、せめて安全のためにソックスを履こう。1枚あると無いとではケガのリスクが大違いなのだ。

